



2005 年度第 5 号

# やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校  
理事会通信

2005 年 9 月 3 日

## 学校運営経過報告

8月25日今年度第一回の評議会が開かれました。評議会は余りなじみのない会だと思いましたが、先年度5月号の「やまなみ」で前評議会議長の金井田氏が解説記事を書かれています。バックナンバーはこちらから：

<http://www.sfjlc.com/menu/menu-2004.htm>

評議会で浅尾理事長より今年度の学校運営の経過報告がありました。直後の理事会の内容も含めて簡単に報告の内容をお伝えします。

今年度の一番の目玉は今年度から高等部を小・中・中学部から分離独立し、理事会が直接運営する形にし、理事長が高等部校長を兼務する事になったことです。これは「やまなみ」で何度も報告されてきましたが、文科省の方針として日本語補習校は義務教育を対象とし、高等部は文科省からの派遣教員の手を離れる事にしているからです。これに伴ってSF校、SJ校それぞれに教頭先生を一人ずつ新しくおきました。

これに加えて理事会も高等部運営の体制を作るため「高等部委員会」を設置しました。今年度のメンバーは浅尾理事長（校長）、SF校担当は千田理事と喜多理事、SJ校担当は浅尾理事と長岡理事。一方、今まで教育関係の問題は理事会では学務委員会で扱ってきましたが、今後は高等部運営の全般を高等部委員会で扱い、小・中・中学部の教育は文部科学省派遣の先生方にお任せしていることから、理事会はその側面支援を担当することとし、新たに「校務委員会」を設けて、教育設備、寄付の企画・使い方、そして安全関連を扱うことになりました。

安全・保健面の活動として、今年度版の「安全対策基本マニュアル」を作りました。子供たちが安心して補習校生活を楽しめるようにするのは学校の責任ですから、安全、警備については引き続き見直していきます。今年度初めて設けた学校医の荒屋先生は「やまなみ」5月号でご紹介しました。小学部SF校の夏期集中学習のときに溶連菌感染症とリンゴ病の児童がいましたが、荒屋先生より速やかにこの病気についてのとても読みやすいお知らせを保護者に配っていただき、問題なく集中学習を続けることができました。補習校のホームページから「学校医情報」のリンクで資料を見ることができます。更に理事会では学校歯科医の検討もされています。

地域、借用校との友好な関係を保つ事も補習校の大事な活動です。今年は小学部SF校の借用校、A.P. Giannini Middle Schoolが創立50周年にあたり、キャンペーンを行っていました。補習校より\$2,000の寄付をしました。写真は寄付の小切手を7月8日に手渡した時のもので、前列が右からLeslie Trook校長とPTAからfundraising chairのKathleen Whiteさん、後列が右から菅野教頭先生、安校務委員長、岩崎校長先生、青柳事務局長です。

事務局の能率化と生徒のニーズをよりよく把握するために、補習校のデータベースの構築が進んでいます。長岡理事を中心に保護者会推薦、学校委嘱のボランティアで技術的な知識をお持ちの保護者、太田さん、歯黒さん、池田さん、そしてユーザーとしての事務局と学校を代表して岩田事務局長補佐と菅野小学部SF校教頭先生が



「データベースシステム化推進委員」として活動されています。今月末からの本格的運用を目指してがんばっていただいています。

同じシステム関連の活動で、小学部SJ校の図書はすでにバーコードを使った効率的な処理をしていますが、SF校では今まではすべて手作業で行って来ました。SJ校のシステムをSF校にも導入できるかどうか、岩崎校長より保護者会へ検討の依頼があり、喜多保護者会副会長兼理事を中心に「小学部SF校図書バーコード化検討委員会」が5月より検討を重ねてきました。その結果SJ校のシステムをSF校でも十分活用できることがわかり、改めて「小学部SF校図書バーコード化推進委員会」として7月より熱心な活動が続けられています。以前KPMGよりいただいた寄付を有効利用してlaptop PCとbarcode reader二台、プリンター一台、などを購入中です。メンバーは（敬称略）唐崎建二、バルク路子、安正恵、高橋利子、

ミッチェル祥子、大山知子、ドガディ景子、ローディ由梨絵、渡部美香、喜多俊幸（委員長）です。

将来へ向けては補習校のあり方を考えるため「補習校の将来像を検討する委員会」が発足しました。近年の生徒数の減少にどう対応するのか、補習校をもっと魅力的にするにはどうしたらよいか、地域との関係の改善などの検討を始めています。現在のメンバーは（敬称略）理事会から加地匡純、北野幸正、宮岡久泰、事務局から青柳伸之、保護者を代表して前田多恵子、土井ちかげ、独古あつこ、武田かおり、村山斉（委員長）です。将来像についてご意見のある方はメンバーのどなたにでも、またメールで [shourazou@sfjlc-hogoshakai.org](mailto:shourazou@sfjlc-hogoshakai.org) までお願いします。

## 第3回理事会

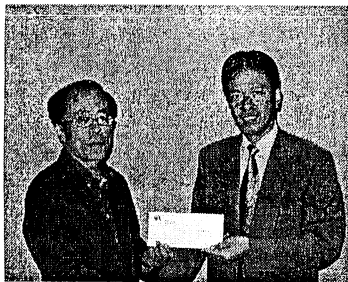
8月25日は評議会に引き続いて理事会がもたれ、学校運営について様々な報告・議事がありました。

大きな決定事項としては人事委員会の設置があります。詳細はまだ決まっておきませんが、今まで教職員の人事規定がはっきりしておらず、統一性のある人事の扱いが

難しいということがありました。サンディエゴみなと学園で雇用に関する裁判が始まったということもあります。そこで人事委員会を設置し、まずは人事規定の作成、そして来年度の採用から実際に委員会人事を扱う予定です。

青柳事務局長が8月8、9日海外子女教育振興財団の「在外教育施設事務今日など会議」に参加、外務省や文科省の方針についての情報、同じような問題を抱えた他の補習校、日本人学校のように見聞を深めてきました。在外日本人の数が急激に増えているアジア、特に中国を除いては全世界的に現地校・英語教育志向が強まり、生徒数が減って来ていること。魅力ある学校作りのいろいろな試みが行われていること。習熟度別コースの試みはなかなかむずかしいこと。借用校とのよい関係作りの大切さ。また、企業から見ると帰国子女はコミュニケーション能力やリーダーシップに優れていて魅力があること。ちなみに、文科省初等中等教育局長の私的諮問機関「初等中等今日一句における国際教育推進検討委員会」では海外子女教育のニーズの変化などについて報告提言がまとめられていて我が校にも興味あるところで。http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chousa/shotou/026/

### 日本航空より寄付金



日本航空様より、JAL ゴルフ・オープン・トーナメントの参加費から、\$1000の寄付金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

左：浅尾理事長  
右：日本航空酒井SF支店長

### 在外選挙人登録の受付

在外選挙人登録のため、SF総領事館より補習校へ「領事出張サービス」をいただけることになりました。9月17日小学部SF校、24日小学部SJ校で行われます。時間は午後3時から5時です。必要書類は(1)在外選挙人名簿登録申請書一人一通、(2)パスポートまたは日本・カリフォルニア州どちらかの運転免許証、(3)代理申請される場合は申請者記入の「申出書」です。書類は<http://www.soumu.go.jp/senkyo/zaigai3.html>より入手できます。

### 北加日本商工会議所オープン・ゴルフ大会

10月2日、北加日本商工会議所主催の補習校ファンドライジング・ゴルフ大会が開催されます。詳細については、補習校のホームページをご覧ください。

### 人事異動

休職 高SF 稲葉京子(9月1日付)  
代行 高SF 石井昭子(9月1日付)

### 事務局よりお知らせ

9月、10月の主な行事予定

月	日	行事予定
9	10	中・高部前期期末テスト
9	17	理事訪問(小SJ)

9	24	理事訪問(小SF)
10	1	前期終業
10	8	後期始業
10	22	中高部授業参観・個別面談

### イヤーブック写真撮影予定日(10月)

月日		対象
10/1	午前	小SJ校(1,2年生個人写真、教職員集合写真、校長、教頭、各クラス担任、専科、看護、事務、用務個人写真)
	午後	中・高SJ校(全員)
10/8	午前	小SF校(1年~2年2組個人写真、教頭、各クラス担任、専科、看護、事務、用務個人写真)
	午後	中・高SF校(全員)
10/15		小SJ校(3~6年生個人写真、卒業生集合写真)
10/22		小SF校(2年3組~6年生個人写真、卒業生集合写真、教職員集合写真、校長)

### 教科書配布(下)について

小学部では、下記の教科書を9月に配布する予定です。(各学年に○印のついている教科書が配布されます)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語(下)(各学年用)	○	○	○	○	○	○
社会3・4年用(下)			○			
社会5年用(下)					○	
社会6年用(下)						○
算数(下)(各学年用)		○	○	○	○	○
理科4年用(下)				○		
理科5年用(下)					○	
理科6年用(下)						○
生活1・2年用(下)	○					
図画工作1・2年用(下)	○					
図画工作3・4年用(下)			○			
図画工作5・6年用(下)					○	
給付教科書冊数	3	2	4	3	5	4

\*1年生の算数(下)はありません。  
\*上記以外及び中高部には(下)の教科書はありません。前期のものを引き続き使用します。  
\*海外子女教育財団等で、すでに上記の教科書を受領している児童は、配布の対象になりません。

### 学校図書返却のお願い

夏休みに貸し出した図書の返却を各校で行っています。夏休み用に借りた図書は、早急に返却をお願い致します。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。  
発行人：浅尾一郎  
San Francisco Japanese Language Class, Inc.  
760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102  
電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542  
電子メール：理事会・事務局 office@sflc.com、学校 sfjlc@msn.com  
ホームページ：http://sfjlc.com  
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。  
無断複製・転載を禁ずる。©2005 All rights reserved.